

## 地震、地震火災、津波で 家が壊れ避難所生活？

**自分だけは大丈夫！これが一番怖いことです。**

みなさん、避難所に行くことになった状況を考えてみてください。

あの3.11で、体育館に人がびっしり、寝る空間も無い様子で、食事も初めはパンのみ、トイレも大変。体の不自由な人、お年寄り、連れて来た『ペット』は？ 混乱の中、全てがゼロからの出発でした。

**避難所とはいったいどのような所でしょう？**

市は、災害対策基本法に基づき、災害が起きた時に備えて『地域防災計画』を策定しています。3.11を受け、国や県の防災計画の見直しが行なわれ、千葉市も今年度中に防災計画を見直します。

地域防災計画の中に『避難所の開設・運営』があり、市は『地域による避難所開設・運営の手引き』をH24年1月に作成し、美浜区幸町第一中学校区で5つの避難所運営委員会が設立されました(H24年7月現在)。今後、全市的に避難所運営委員会を至急結成していく必要があります。

避難所の開設・運営は基本的には区職員ですが、大災害時は、住民自らの力すなわち避難所運営委員会(地域町内自治会、自主防災会等)が運営します。そのため、平常時に、避難所運営委員会を設立し、運営のルール作りが必要になります。是非早急に、住民自ら地域にあった避難所運営委員会を立ち上げ、大災害に備えたいものです。

## 公園の砂場の放射能濃度は？

公園の土や砂場の砂は小さなお子さんが直接触れて遊びます。

安心して遊ばせるには空間放射線量だけでなく砂や土の放射能濃度を知っておきたいものです。

今後も放射能測定を続けていきますので、測定を希望される方はご連絡下さい。



赤井町公園の土を採取

採取日 '12.07.02	放射性セシウム (Bq/kg)	空間放射線量 (μSv/h) 測定日 '12.07.02	
宮崎菰池公園	43.7	1cm 0.052	100cm 0.100
そがハッピー公園	44.6	0.072	0.103
新宿公園	35.9	0.094	0.081
登戸5丁目公園	248.9	0.111	0.106
赤井町公園	150.0	0.112	0.106

※赤井町公園のみ公園の土 測定はちば市民放射能測定室  
※放射性セシウムの値はCs-134とCs-137の合計です。  
参考までに空間放射線量も掲載します。

## 災害時に避難する時はペットも一緒に！

わん子の会ちば 代表 藤本千鶴

あの『3.11の時』、つながれたまま津波に飲み込まれ、家の下敷きになり、家から出られずに苦しんで死んだ多くのペット達。家族と離れさまよい歩いたペット達。二度と同じ事は繰り返したくない。

**いつ来るか分からない災害時に、大切な家族のペットを守りたい！**

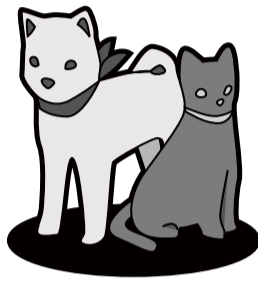
災害時のペットの避難について千葉市に問い合わせしてみました。

千葉市地域防災計画では『大規模災害時のペットの避難については、可能な限り対応出来るよう検討する』とはしていますが、残念ながら具体的な方策等は示されていません。ペットの飼い主に向けての『災害時のペットの避難』の説明チラシもありません。そこで、ペットの飼い主に、『災害時のペットの避難』を考えて頂くため、『わん子の会ちば』でチラシを作成しました。

- \*避難する時はペットも一緒に連れていく事
- \*日頃から、避難の準備をしておく事
- \*避難所ではペット飼育のルールがある事等をまとめています。

(詳しくは <http://blog.goo.ne.jp/siromomo12/>)

今後、千葉市に『災害時のペットの避難』の具体策について要望していきます。



## 福島訪問記 (8月18日～19日)

ちば市民放射能測定室 (しらベル) 小西由希子

福島駅周辺は、面的除染が必要な0.23μSv/hを大きく超えており、改めて事故の深刻さを実感しました。いまだ除染は「点」とどまっております、この先の長い道のりに気が遠くなる思いでした。

「子ども達を放射能から守る福島ネットワーク」代表の佐藤幸子さんにお話をうかがいました。事故後福島を離れた人は1割程度で、地元に残る人が圧倒的に多いそうです。子どもを守るためにできることをすべてやろうと、情報発信、講演会、料理教室、保養・移住の

相談など精力的に動いています。留まるのも移住するのも、両方の考えがあることを認めてほしい、保養にもっと予算をとってほしいと佐藤さんは言います。

桃や梨がたわわに実る豊かで美しい大地は、この地に住む人々にとって大きな誇りであることを改めて強く感じました。だからこそなおのこと、この事故がどれほど取り返しのつかないものであったのかと残念でなりません。



福島市民放射能測定室

## 福島原発告訴団 の活動開始！

東電、そして原発推進政策をすすめてきた国にきちんと責任をとってもらうために、検察による捜査を要求する「福島原発告訴団・関東」の活動が始まっています。皆さんもぜひご賛同ください。

問い合わせ先：  
市民ネットワークちば  
電話 043(201)2551

## 市長との“家庭ゴミ有料化” 対話会に参加して

09エコリーダーの会 上水 千古

8月4日(土)幸町公民館での対話会に参加しました。この地区は比較的ゴミ問題に関心が高い住民が多いと聞いておりましたが、その通りで会場は満員の盛況ぶりでした。市長からは今年度の焼却ゴミ削減の数値目標が示され、2つの

清掃工場処理可能な量にするには、昨年度より11,000t削減しなければならないとの事でした。

ところが現状は、削減どころか増加傾向にあり、深刻な状況になっているようです。質疑応答では、反対派の参加者が多かったため、これ以上家計の負担を増やさないでほしいという意見が多かったように思います。私としては、ゴミ処理に多額の税金が使われていることや、削減努力

をしている人としていない人の公平感を保つために、有料化は必要であると思いました。これにより、市民一人一人が自分でゴミを減らそうと思うような意識改革ができれば成功だと思います。

ただ、市長には、徴収したお金の使い道をよく検討し、生ゴミ減量処理機購入補助制度の拡大等、市民が削減努力をし易い環境整備に使ってほしいとお願いしました。